

第5回審議会からの変更のポイント

全体像を示す資料（A3カラー）を追加しました。

主な変更ポイントは下記のとおりです。

序 論	
第1章 計画の改定に当たって	
第2章 上越市の特性と課題	
基本構想	基本計画
第1章 基本理念・将来都市像	第1章 基本指標
第2章 まちづくり重点戦略 ・図の精度を高めるとともに、基本方針を加筆修正しました。 ・重点プロジェクトの例として示していたものを「重点プロジェクト」に移動しました。	第2章 重点プロジェクト ・「まちづくり重点戦略」から移動した記述をもとに、加筆しました。
第3章 基本政策	第3章 まちづくりプラン ・施策の体系を構成する項目の名称や、記述内容の一部を変更しました。
第4章 土地利用構想 ・小項目について、一部組み換えを行いました。	第4章 地区別計画 ・前回の審議会後、各区の地域協議会における自主審議を経たものを掲載しました（地域協議会への諮問・答申は審議会の答申後に行います）。
	第5章 計画の推進方法 ・庁内における計画の運用方法を示したものであり、内容自体も検討中であることから、パブリックコメントへの提示は見送りたいと思います（次回の審議会までに最終判断いたします）。

全体を通じて、誤字・脱字や、意味のわかりにくいと思われる箇所、表現が重複している箇所などを修正しました。

審議会におけるご意見への具体的な対応については、次ページ以降に示します。

第4・5回総合計画審議会における意見と回答・対応

No	意見		回答・対応	
	ページ	説明 (は審議会での意見、 は意見提出シートによるもの、 は第4回審議会での意見、 は第5回審議会での意見)	ページ	説明
序 論				
1	資料3-2 1-12	国土交通省のパンフレットでは、上越市役所と南魚沼市は「約54分」と記載されていることから、34行目の「上越市と六日町を約45分で」を「上越市と南魚沼市(六日町)を約54分で」に修正が必要。	19	ご指摘のとおり、修正いたしました。
- 2 まちづくり重点戦略				
2	資料3-2 3-7	重点戦略の3「ご近所の底力の向上」というのは非常に良いと思うが、もう少し膨らませてはどうか。個人、民間、行政よりも地域コミュニティで取組むことが効率的と書いてあるが、担い手はどういう方なのかという時に、例えば消防団など頑張っていたきたい団体をてこ入れするというようなものがあると、この提案は非常に効果がでると思うので、その点を考えてはどうか。	66 67 112	防災は一つの重要なキーワードとして示してあり、ご指摘の内容は十分にプロジェクト6の対象と考えています。
3	全体	2の重点戦略のところを書いてあることは、まちづくりプランでは書くのか、それとも書かないのかを整理したほうがよい。 重点戦略で書いてあれば、分野別では書かないとするなら、そのことをあらかじめ説明しておいて、それに従って書かれなければならない。 また、そうした場合、農政や林業についても書き方が弱いと思うし、教育のところもせっかく重点戦略で食育のことを書いてあるのに、基本政策では食育については全くふれられていない。	135 143 153	重点戦略・重点プロジェクトは、基本政策やまちづくりプランで実施する事業を分野横断的につなぐことによって成立しますので、事業レベルになれば原則として重複することになります。 なお、基本政策よりも重点戦略、まちづくりプランよりも重点プロジェクトの方がやや具体的に表記しているため、重点戦略で示したものは、可能な限りまちづくりプランで記載することとしています。 例えば、重点戦略の中で「農」の重要性を示していますが、まちづくりプランにおいては、農業振興に資する地産地消や都市部との交流を「農産物の付加価値の向上(と販売促進)」で示すとともに、経済論理にとどまらない活動については「里地里山の保全」、食育は「健康づくりの推進」のところではふれています。

- 3 基本政策				
4	-28	「3 持続的なつながりを育む都市基盤が確立したまち」という表現は、漠然としていてタイトルから中身が推察できない。何と何がつながっているのかが書かれていないので、曖昧な表現になっている。	77	「都市基盤」という言葉によって、基本政策の内容を最も端的に表現しています。どのような都市基盤かを表現する言葉として、人と人、人とのものを「つなぐ」基盤であることに重きをおいて「つながり」と表現しました。 ここは端的に表現する箇所であり、これ以上丁寧に説明することが難しいため、 <u>ご指摘を踏まえ</u> 、「つながり」を逆に「魅力」というより大きな表現に変更することによって、違和感の解消に努めました。
5	-32	基本政策の「6 地域全体でみんなの健やかな生活を支え合うまち」については、健康、福祉、子育ての3つをもって、健やかな生活としてもいいものか。「健やか」は健やかな子どもの成長としか私は認識しない。	80	「健やか」は、健康、丈夫、しっかりしているさまを表す言葉で、子どもに限定したものではありませんので、原案のままとさせていただきます。
- 4 土地利用構想				
6	資料 3-1 18	原則として市街地の拡大は行わないということを唐突に書かれると、何故なんだということになる。現在、多くの自治体で原則として市街地の拡大は行わないという方向になっているのは何故かということも、もう少しちゃんと丁寧に書いておかなければいけない。	93 84 85	<u>ご指摘を踏まえ</u> 、理由を付しました。 あわせて、基本的な考え方においても、市街地の拡散による影響を記載しています。
7	同上	原則として市街地の拡大は行わず・・・ 田園地域、中山間地域の地域拠点、生活拠点も今後の人口減、高齢化により、維持が困難となると推定される。拠点なので住宅開発の推進が必要と考えられる。	86 88	拠点としてあり続けるためには、一定の人口確保が必要と考えています。一方で、住宅開発のみで人口を維持することは厳しい状況と考えますので、ソフト施策を伴う居住環境の整備が必要とし、基本的考え方や拠点の4つの要件を示しています。
8	同 追加 資料 2	頸城区の南川地区に緑の円が記載されていない。(同区)百間町地区よりも人口が多く、住民の動線は黒井駅、直江津方面、春日新田方面が中心となっている。交通ネットワークづくりで現実的対応をしてほしい。このような事例が他にもあるのではないかと思うので、慎重に検討してもらいたい。	88 97	追加資料の 印は、一定の機能集積があるところを客観的評価で示したものであり、人口集積をもとにしておりません。実際に拠点の場所を決める際には、4つの要件を満たすことが重要になると考えています。 いずれにしても、本計画での表記はイメージであり、具体的な場所については、関連計画のもとで検討していくことになると考えています。
9		要望になるが、ほくほく線の場合は、浦川原が一つ核になっているが、例えば大池いこいの森駅とか、頸城駅、犀潟駅が続いており、この地域の賑わいをどうするかということと、鉄道が今後どう維持されるかという非常に重要な問題があるので、その点を検討してもらいたい。	-	駅を中心としたまちづくりは基本ですが、大池いこいの森やくびき駅周辺を拠点と位置付けるには都市機能や人口の集積度の面などから困難と考えています。当面は、観光振興やパーク＆ライドなどの方策が考えられますが、その点については、具体の施策の中で検討していくことをご理解下さい。

- 2 重点プロジェクト				
10	同上	<p>現在、世界中で注目されているマイクロファンドのようなものがあるが、経済的な部分のサステナブルというようなことを仕組みとして考える時に、やはりコミュニティが対象になると思うので、そういったコミュニティの単位を考えてもらいたい。</p> <p>そこで、コミュニティビジネスなどと言わないで、上越市版マイクロファンドみたいなものがあればよいのではないかと思う。</p>	112	<p>ご指摘を踏まえ、重点プロジェクトにおける取組の例として「地域資源を活用した地域密着型のビジネスモデルの構築支援」を追加しました。</p>
- 3 まちづくりプラン				
11	-16	<p>プランの基本方針で、「市民社会の共生」を進めるという言葉に違和感がある。（「～と～の共生」や「共生のまちづくり」というのならよい）</p>	124 (75)	<p>本文中では「共生のまちづくりを進めます」と記していることから、ご指摘を踏まえ、基本方針も同様の表記に改めます。</p>
12	-18	<p>「みんなが主役のまちづくりプラン」で、NPO やボランティア活動という名称が出てくるが、-57 では市民活動団体という名称が出てくる。市との協働の関係で団体が向き合おうと、協働の基本理念の中で、市民活動団体に揃えようということにした記憶があるので、確認の上、すり合わせていただきたい。</p>	122 ほか	<p>ご指摘のとおり、「市民活動団体」という表記で統一しました。</p>
13	同上	<p>共助の維持・再生が極めて重要となると書いてあり、そうなれば地域コミュニティ活動や地域自治区が非常に重要となるが、そのことが続けて書かれておらず、いきなり NPO ボランティアの記述に移っていることに違和感がある。</p> <p>また、-19 ページでは、項目の1番目に NPO の推進があり、2番目に地域コミュニティが記載されているので、この順序にも違和感がある。</p>	122	<p>地域自治区については一段落目に記載してあります。</p> <p>ご指摘のとおり、NPO（市民活動団体）による活動と、地域コミュニティ活動の順序を入れ替えました。</p>
14	-20	<p>効率的で効果的な行政運営を確立する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織論はこうなるのかもしれないが、記述があまりに行政サービスの提供側の論理に終始してはいないだろうか。 ・いろいろな改善点、方法論を記述しているが、「パフォーマンス向上」はよいが、結局目的とするところは、市民の暮らしの向上、満足度を上げるために行うということをも明記すべきではないか。 	126	<p>このプランは、ご指摘のとおり行政内部のパフォーマンスをあげることを目的としており、その他のプランの基盤となる性質を持っています。また、このプランに限らず、すべてのプランが市民の皆さんの暮らしのために実施するものであり、すべてに記載するとくどい表現となることから、記載を見送らせていただきました。</p>
15	-26	<p>「人やものが集まり効率的に循環するまちをつくる」は、効率的だけでよいのか。</p>	132	<p>丁寧に記載すると様々な単語が出てきますので、ここでは代表する言葉として用いています。</p>

16	-30 ~33	<p>最近個人情報の問題もあり、町内会長や民生委員さんにも、個人情報が出しにくくなっているが、ここでは町内会長、民生委員や児童委員の間で個人情報を共有できるような仕組みを検討していくという極めて大事なことが書かれている。</p> <p>しかし、取組方向になると、そのことが触れられていない。一方で、-33 の取組方向の地域防災力の向上では、要援護者情報について自主防災組織等と市とが共有化を図ると書かれているので、それぞれ整合性を図ってほしい。</p>	136 140	<p><u>ご指摘を踏まえ</u>、修正しました。</p> <p>まず、個人情報の問題は、豪雪災害に限った話ではないため、「危機管理・防災プラン」の本文と取組方向に記載しました。</p> <p>次に、「危機管理・防災プラン」を「雪国暮らしプラン」よりも前に移動し、災害全般に関わることは前者で説明するルールとしました。</p>
17	-36	<p>本文の 15~22 行目の「これからの上越市の農業は・・・・・・明るいものとしていきます。」という記述と 29~32 行目の「また、集落営農の促進や・・・・・・明るいものとしていきます。」は、内容が重複しているので、整理をする必要があるのではないかと。</p>	142	<p><u>ご指摘のとおり</u>、重複箇所を整理しました。</p>
18	-40	<p>外貨獲得にぎわい・交流プラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外貨獲得と特定しているが、外貨獲得の意味は、“海外の”という意味か。外貨獲得という割には取組方向に具体的な内容がない。取組方向とマッチしていないように思うがどうか。 ・観光振興は非常に難しい問題だが、上越ブランド、キャンペーン、フィルムコミッションそれぞれが重要となる。妙高市との連携、広域観光の観点からこれから重要と考える。この観点からの取組を明記すべき。 	146 (79)	<p>外貨の「外」は、「外国」ではなく「市外」を意味しますが、<u>ご指摘を踏まえ</u>、「市外からの『外貨』」と表記します。</p> <p>「広域連携を柱とした」という表現を用いており、妙高市との連携は重要と認識しておりますが、総合計画としてはかなり踏み込んだ表現となりますので、妙高市のみ掲げることは見送らせていただきたいと思えます。</p>
19	-46	<p>誰もが健康で、必要な時に適切な医療が受けられる環境をつくる・・・文章を練ってほしい。</p>	152 (80)	<p>医療体制は健康づくりのためであり、152 ページの最後で「市民誰もが心身共に健康で暮らせる」と記していることから、<u>ご指摘を踏まえ</u>基本方針も同様の表記に改めます。</p>
20	資料 3-2 4-11 ~12	<p>「地域全体でみんなの安心な生活を支えあうまち」の総論はよいが、地域福祉プランの基本方針になると、非常に行政的である。高齢者福祉の充実、障害者福祉の充実と表現したら、今までの流れが崩れてしまうのではないかと。</p> <p>国が言う、障害者、高齢者の自立支援というのは、彼らができることをまさにきちんと支えるまちづくりである。高齢者参加も障害者参加もちゃんと含まれたまちづくりなんだというメッセージをもう少しよくよかに書けるのではないかと。</p>	154 (80)	<p>基本構想の「基本政策」については、<u>ご指摘を踏まえ</u>表現を努力いたしました。</p> <p>一方、現実には高齢者福祉、障害者福祉という区分での業務が存在することから、基本計画の「まちづくりプラン」では割り切ったそのような表記をしていることをご理解いただきたいと思えます。</p>

21	-50	<p>みんなで楽しく子育てプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の権利という言葉は共通認識のあるものか。 ・取組方向の子育て環境の整備では、「子どもの権利を尊重する社会の実現に向け、子どもの権利条例を制定し」とあるが、本当なのか。 ・子どもの権利とはどのような内容なのか。 ・なぜこのような言葉が必要なのか（背景、権利化する意義） ・子どもの権利を尊重する社会とはなにか。 ・子どもの権利ということの特に明記しなければならない社会は異常である。子どもを子どもとして慈しみ、育てあう社会、大人を育てることこそ必要。 	157	<p>語源は、1989年に国連総会において採択された「子ども権利条約」に由来します。当市においても、現在、権利条約の制定に向けた検討が行われています。全国でも賛否両論あるようですが、当市における取組は、子どもに対する犯罪や虐待防止等の観点から、地域ぐるみで子育てしやすい環境をつくっていくための契機と考えています。</p> <p>ただし、主な施策として表記するには、具体的すぎる内容であることから、<u>ご指摘を踏まえ</u>、位置づけと表記を改めました。</p>
22	-52	<p>記述の中ほどの、生命尊重、規範意識、郷土愛など豊かな心ということには賛成であるが、取組方向のどこに出てくるのか。具体的な記述が必要。独立した記述をお願いしたい。</p>	158 159	<p>左側のページでは理念や方針を示し、右側のページには施策を記載することとしております。豊かな心を育むことは基本理念として掲げておりますが、学校教育の中では包括的な取組となることから、意味を「様々な教育課題に的確に対応するとともに」に含めています。</p>
23	-53	<p>地域の教育力向上 (1)家庭や地域の教育力の向上では、家庭に関わる記述が欠落している。</p>	159	<p>家庭や地域の教育力の向上を「家庭の教育力の向上」と「子どもの居場所づくりの推進」に分離し、<u>ご指摘のとおり</u>それぞれ説明を記載しました。</p>
24	-55	<p>スポーツ競技力の向上では、必要に応じてスポーツ関連施設の整備、充実を図りますと書いてあるが、「必要に応じて」という言葉が非常に消極的な印象を受ける。上越市の屋外スポーツ施設の質は悪いので、この記述はもう少し強調してもらいたい。</p>	161	<p>原則として、厳しい財政状況の考慮や施設整備が目的化することの懸念から、特定の施設整備に係る記載は行わないこととしております。</p> <p>ただし、ここでは「国体開催のため」と「必要に応じて」の意味が重複することからも、<u>ご指摘を踏まえ</u>削除いたしました。</p>
- 4 地区別計画				
25		<p>第5回審議会では、現段階で13区は地域協議会有り、地区別計画について検討できるが、他の地区では、地域協議会がないので検討できない旨の説明があったが、13区の土地利用に対して、高田、直江津といった拠点の土地利用の書き方に工夫ができないか。</p> <p>拠点の役割が明確すぎて、他の周辺地域が弱く感じられる。</p>	166	<p>「拠点」と「拠点以外」という分類が一種の格差を感じる要因となりうることから、<u>ご指摘を踏まえ</u>、「市街地」「田園地域」「中山間地域」「森林地域」の4分類を行った上で、拠点やそれぞれの特性に応じた役割を明記しました。</p> <p>13区の地区別計画は、土地利用の観点ではなく、地域自治区の観点からまちづくりの方向を示したものですので、合併前上越市とは切り口が異なることをご理解いただきたいと思います。</p> <p>一方で<u>ご指摘を踏まえ</u>、13区や拠点以外のコミュニティについても重要視している旨を、再度表記しました。</p>

上越市の現状と課題に関するデータ集				
26	第3回 資料9 p.6	<p>「治安が悪くなった原因」のグラフは一般の方が、一見して、「治安が悪くなった」ことの原因が「在日外国人による犯罪が増えたから」と誤解しかねないので削除したほうがよい。このグラフは、国民がどのように感じているかというものであって、因果関係の事実を示したものではないことから、このグラフ自体が、上越市民の不安をあおったり、上越市の国際交流活動に水を差すことになりかねない。</p> <p>またもう一つのグラフは、犯罪件数は減少しているのに、人々の不安が逆に高まっていることを示したい意図であるなら、タイトルには「意識」の文言を必ず入れる必要がある。(例:「治安に関する社会意識(全国ベース)の変化」)</p> <p>このページで一番重要なのは「上越市の犯罪認知件数は減少傾向」というタイトルの根拠となるデータを掲載であろうから、「犯罪認知件数の伸び」の折れ線グラフを一番大きく示せばよいのではないか。</p>	-	<p>計画の資料編として、データ集でお示しした内容をどの程度掲載するかについては、現在検討中ですが、掲載する場合は<u>ご指摘のとおり</u>留意いたします。</p>
27	同 p.14	<p>「市内小中学生は自己効力感が高い一方、不安傾向も強い」の4つの表は削除したほうがよいのではないか。</p> <p>タイトルの意味も不明であるし、一般の人がこれを見れば、かなりショッキングな印象を受けかねず、「上越市の教育はやっぱり駄目ではないのか」という市民の不安や教育委員会への批判をあおりかねない。今回の総合計画に直接関係するわけではなく、どうしても必要なデータでもないようなので、削除するのが一番適切かと思うがどうか。</p>	-	<p><u>ご指摘のとおり</u>、計画の資料編としてデータ集を掲載する場合でも、この項目については削除します。</p>